



第 215 号

発行所 大阪府危険物品協会連合会
発行人 田 宮 呉 策
大阪市西区西長堀北通1丁目
四つ橋ビル8階
TEL (531) 97175910
定価 1部 20円

~~~~~

11月26日～12月2日

# 秋の火災予防運動

~~~~~

今年住宅焼死者が多い

今年も年末を迎え火災シーズンに対処して、11月26日より12月1日まで全国一せいに火災予防運動が展開される。

今年の上半期における火災は、全国で22,377件で昨年同期の438件減、建物火災による死者も925人で昨年に比べ76人の減少と好結果をみているが、建物火災のうち専用住宅では、死者432人で昨年より30人余りの増加となっている。

このような実態、火災傾向から各家庭における防火態勢の確立が最も肝要と考えられる。

また、火災原因中タバコの投げ捨てによるものが上位を占め、一方寒季に入りストーブの使用増加に比例して火災原因になる率も急増する傾向にあるので、これも今年の重点目標にとりあげられた。

1. 親子防火会議の実施

各家庭において親子の話し合いの時間を設け、火災およびこれともなう危害の防止について次のような点を重点にきめこまかい創意工夫を検討、実施すること。

ア. 火気使用器具の安全な取扱いと使用後の点検

イ. 火気使用場所の整理整頓と付近可燃物の除去

ウ. 火災危険物品の安全な取扱いと保管

エ. 就寝前、外出時の火の元点検

オ. バケツ一杯の水くみ置きと必要に応じた消火器具の設置。

2. タバコの投げ捨てと寝タバコの防止

ちょっとした注意で実施できることである。各人の心がけ次第で成果は非常に大きいものが期待される。

3. 暖房器具の正しい使い方

最近の各家庭における石油ストーブの使用増加は目ざましく、とくに狭い場所、カーテン、フスマなどの可燃物の近くで使用したり、燃焼中に給油や移動して、これが火災原因に連ることが多いので、使用場所、取扱い方法、不良箇所の修理に注意すべきである。

4. ホテル、百貨店、事務所等の防火対象物における消火通報、避難の訓練の実施。

ア. 防火管理者を中心とする自主的な消火、通報および避難の訓練の実施

イ. 消防用設備の点検および使用の訓練実施

大阪府下における46年度上半期(1月～9月)における火災状況は第1表、第2表のとおりで、出火件数、死者数等全般に減少している。(大阪府下)

件数、焼死者減少

—大阪府 1月～9月 統計—

	46年 1月～9月	昨年同期間	増減率	
出火件数	4,696件	5,045件	-7.31%	
内訳	建物火災	2,977	3,109	-4.25
	林野火災	177	197	-10.15
	車両火災	396	457	-13.35
	船舶火災	12	16	-25.00
	航空機火災	0	0	-
その他火災	1,114	1,266	-12.00	

	46年 1月～9月	昨年同期間	増減率
り災世帯数	3,227世帯	3,698世帯	-12.55%
死者数	68人	147人	-53.74
負傷者数	504人	1,055人	-52.23
建物焼損面積	117,022m ²	124,097m ²	-5.70
建物焼損むね数	3,608むね	4,121むね	-12.45
林野焼損面積	34,888アール	67,459アール	-48.28
損害額	5,050,751千円	4,328,809千円	+16.68

火災による死者数を火災ごとにあげると第3表のとおりである。

大阪府下の火災による死者の調査表(1月~9月)

出火日時	火災種別	出火原因	死者の出た建物			死者の 年齢及 性別	死因	出火から死に至った経過の概要
			用途別	構造及 階層	死亡し た場所			
1月5日 8時30分	建物	こんろ	住宅	木造平家	病院	女77才	火傷	こんろの火が着衣に着火し、火傷を負い病院で死亡したもの
1月6日 21時02分	〃	調査中	〃	〃	炊事場	男60才	窒息	身体が不自由なため逃げ遅れたものと推定
1月10日 1時54分	〃	たばこ	食堂 併用寮	簡易耐火 2階	1階 階間	男46才	〃	熟睡のため火災に気付かず逃げ遅れたもの
1月10日 12時50分	〃	煉炭 火鉢	共住 住宅	木造2階	1階 階間	女46才	火傷	睡眠薬常用者で心臓の持病があり炊事中発作を起し倒れた時後の火鉢に着衣が着火したもの
1月13日 12時20分	その他	焚火	—	—	—	女89才	〃	焚火に後向きになって採暖中着衣に着火バケツ水で消火したが火傷が強度で死亡したもの
1月13日 13時35分	建物	たばこ	住宅	木造平家	病院	男77才	〃	中風で身体不自由の該者が寝たばこをした処、火災となり逃げ切れなかったもの
1月13日 17時30分	〃	〃	〃	〃	居間	男50才	一酸化 炭素中毒	プロパリンを服用し熟睡寝たばこにより火災が起きたが気付くのが遅れ中毒死したもの
1月19日 8時25分	〃	煉炭 火鉢	〃	〃	玄入 関口	女65才	焼死	煉炭火鉢で採暖中着衣に着火あわてて横にあった單車を倒した処、漏れたガソリンに引火全身火傷に負ったもの
1月25日 14時27分	〃	煉炭 火鉢	〃	木部2階	1階 階間	女87才	火傷	煉炭火鉢で採暖中着衣に着火したが消しきれず全身火傷を負ったもの
1月26日 19時45分	〃	ローソク (推定)	〃	木造平家	1階 階間	女73才	焼死	ローソクをひっくり返し火災になったが目が不自由なため逃げられなかったもの
1月27日 16時28分	〃	豆炭 (推定)	住宅兼 店舗	木造2階	2階 階間	女90才	一酸化 炭素中毒	身体不自由のため豆炭で火をおこそうとして豆炭あんかから火種を取り出した際雑品の上に落し燐焼出火したが逃げられなかったもの
1月29日 4時10分	〃	たばこ	寮	耐火2階	2階 階間	男31才	一酸化 炭素中毒	泥酔のため火災に気付かず逃げられなかったもの
2月2日 16時35分	車両	弄火	—	—	—	男1才	焼死	両親が買物中車内で火災がおこり幼児のため逃げ出せなかったもの
2月4日 16時03分	建物	煉炭 火鉢	住宅	木造平家	居間	男76才	〃	掘りこたつに入り採暖中掘りこたつ内の火鉢の火に着衣が着火不自由のため自由がきかず逃げおくれたもの
2月5日 20時55分	車両	衝突の際流失したガソリンが過熱したエンジンに引火	—	—	—	男17才	〃	衝突によるショックでガソリンタンクの蓋が離脱し過熱したエンジンに流失したガソリンが引火したもの
2月6日 15時16分	建物	弄火	住宅兼 工場	簡易耐火 2階	2階 階間	女56才	火傷	1階から出火したが火の回りが早かったため逃げ切れなかったもの
〃	〃	〃	〃	〃	〃	女1才	〃	〃
2月8日 20時02分	その他	放火 (焼身自殺)	—	—	—	女19才	〃	灯油をかぶりマッチで火をつけ焼身自殺をはかったもの
2月8日 12時55分	建物	こんろ	住宅	木造平家	寝室	男83才	窒息	就寝中横においてあったこんろに布団がずれて着火体が不自由なため逃げられなかったもの
2月10日 10時15分	〃	取灰	〃	〃	類住 焼宅	女74才	火傷	一度家族と避難したが忘れ物に気付き取りに戻り火傷を負ったもの

2月11日 5時00分	〃	こたつ	住宅兼 作業場	木造2階	1居	階間	女 31才	〃	出火に気付き階下の家族に火事を知らせた後2階へ着替に戻って逃げおくれたもの
2月13日 5時30分	その他	こんろ	—	—	—	—	男 73才	焼 死	こんろの火が付近の新聞紙に移火し着衣に着火したもの
2月16日 7時54分	建 物	ガスストーブ	共住 同宅	木造2階	1居	階間	女 65才	火 傷	病弱の上歩行困難な同人がガスストーブをつけた際ガス火が着衣に着火火傷を負ったもの
2月18日 13時02分	〃	ガス こんろ	住 宅	〃	〃	〃	男 81才	〃	半身不随の同人が炊事をしようとしてガスこんろの火が着衣に着火、火傷を負ったもの
2月22日 5時27分	〃	たばこ	〃	耐火2階	2寝	階室	男 26才	一酸化 炭素中毒	飲酒泥酔のため火災に気付かず中毒死したものと推定
2月25日 17時32分	建 物	調査中	住宅兼 工場	木造2階	2居	階間	女 69才	一酸化 炭素中毒	火災を知った時は階下から上昇する猛煙のため逃げる事が出来ず煙によって中毒死
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	女 3才	〃	〃
3月 1日 3時15分	建 物	不 明	住宅兼 作業場	木造2階	2居	階間	女 86才	火 傷	高令の上目が不自由であるため出口がわからなくなり煙にまかれて火傷に至ったものと推定
3月 2日 5時13分	〃	調査中	共同住宅 (物置)	耐火11階	1物	階置	男 45才	一酸化 炭素中毒	酒に酔って物置内に入り寝たばこをしながら寝入ってしまったため附近の古新聞に燃え移りその煙で中毒したもの
3月 5日 13時48分	〃	マッチ	住 宅	木造1階 1部2階	1居	階間	男 78才	〃	寝たきりの本人がたばこを吸おうとしてマッチをすったところ布団に燃え移り消す事が出来ず隣室まで逃げたが煙にまかれたもの
3月 8日 9時24分	〃	ローソク	〃	木造平家	病 院	病 院	女 77才	火 傷	仏壇のローソクに火をつけたが目と手足が不自由なため動作がかんまんであり着衣に着火したが消す事が出来なかったもの
3月 8日 21時29分	〃	弄 火	住宅兼 店 舗	〃	勝手口	間	女 6才	〃	幼い弟妹を屋外に連れ出し近所に火事を知らせたあと再び屋内に引返したため煙にまかれて死亡したもの
3月 9日 13時49分	建 物	こんろ	住 宅	木造2階	病 院	病 院	女 65才	火 傷	こんろの火が着物に着火したが消火することが出来ず死亡したもの
3月11日 15時50分	〃	ガス 炊飯器	共住 同宅	耐火11階	〃	〃	男 21才	頭蓋底 骨 折	出火報に接し梯子分隊員として出場火元留守のため扉開かず直上の5階から火元へ侵入人命検索と消火活動中オーバーフラッシュとなり、このためすぐ5階に脱出しようとしたが時期が遅れ地上へ転落負傷を負病院で手当中死亡したもの
3月18日 3時40分	〃	たばこ	〃	簡易耐火 3階	1居	階間	男 22才	一酸化 炭素中毒	泥酔し寝たばこをしながら熟睡したため火災に気付かなかったもの
3月19日 9時08分	〃	〃	住 宅	防火2階	2居	階間	女 59才	窒 息	2階から煙が出ているのを隣人に知らされたので消火しようとして2階に上り煙にまかれたもの
3月19日 11時27分	〃	〃	〃	木造平家	便 所	便 所	男 72才	焼 死	火災に気付き便所へ逃げたが便所入口で行き詰りとなり逃げられなかったもの
3月20日 17時53分	〃	調査中	〃	木造2階	2居	階間	女 3ヶ月	火 傷	乳幼児のため逃げられなかったもの
3月24日 2時30分	建 物	調査中	住宅兼 店 舗	木造2階 1部3階	2居	階間	女 29才	火 傷	火災に気付くのが遅れ逃げおくれたもの
3月26日 20時 7分	〃	たばこ	住 宅	木造平家	1居	階間	男 68才	〃	身体不自由の本人が寝たばこをしその火が着衣に着火し全身火傷を負ったもの

3月27日 22時39分	〃	調査中	〃	〃	〃	男 48才	〃	酒と睡眠薬を飲んで寝たため火災に 気付くのが遅れ焼死したもの	
4月 4日 13時44分	林 野	焚 火	—	—	—	男 74才	火 傷	栗のいがを焼却中付近の枯草に移火し 消火作業中着衣に着火全身火傷を負ったもの	
4月 5日 22時55分	建 物	調査中	住 宅	木造2階	2 階 間	女 80才	一 酸 化 炭素中毒	火災に気付き脱出しようとしたが猛 煙のため脱出することが出来ず煙に まかれたもの	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	女 84才	〃	〃	
4月14日 16時14分	〃	放 火	共 住	同 宅	〃	1 階 間	男 60才	火傷(焼 身自殺)	灯油をかぶり放火焼身自殺をはかっ たもの
4月24日 12時40分	〃	こたつ	住 宅	〃	〃	男 75才	室 息	中風で寝たきりの身体不自由の本人 の布団がこたつに接触着衣に着火し たが逃げ出せなかったもの	
4月30日 7時30分	建 物	調査中	住 宅	簡易耐火 1 階	〃	女 29才	室 息	熟睡していたため火災に気付かず煙 にまかれて死亡したもの	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	女 3才	〃	〃	
5月 5日 3時41分	〃	たばこ	寄 宿 舎	簡易耐火 3 階	3 階 間	男 22才	室 息	火災に気付き子供を外に連れ出し再 び屋内に入り煙にまかれたもの	
5月 7日 19時01分	〃	マッチ	住 宅	木造2階	1 階 間	男 66才	火 傷	カイロに注油中こぼした油に点火し ようとすったマッチの火が引火着衣 に着火したもの	
5月26日 3時25分	〃	たばこ	〃	〃	〃	男 73才	一 酸 化 炭素中毒	熟睡のため火災に気付かず逃げ遅れ たもの	
5月26日 23時42分	車 両	内燃機関	—	—	—	男 21才	焼 死	交通事故により燃料タンクが破損し 漏れたガソリンに摩擦火花が引火し たもの	
〃	〃	〃	—	—	—	男 23才	〃	上記事故により助手席より脱出した が全身火傷のため病院で死亡したも の	
6月 9日 13時02分	建 物	調査中	共 住	同 宅	耐火5階	ベ ン ラ ダ	女 82才	火 傷	火災に気付き居間からベランダに逃 げたが一酸化炭素中毒になり火傷を 負ったもの
6月16日 15時35分	〃	放 火	住 宅	木造2階	病 院	女 50才	〃	主人と口論の際逆上し近くにあった 灯油をかぶりマッチで火をつけたも の	
6月22日 18時47分	〃	ガソリン	〃	〃	〃	男 49才	〃	風呂場にてペンキ刷毛をガソリンで 洗滌中風呂のガスバーナーの火が引 火外へ運び出そうとして転倒し全身 に火傷を負ったもの	
6月29日 9時20分	その他	放 火	—	—	—	男 33才	〃	病気でノイローゼ気味であった本人 が公園でガソリンをかぶり焼身自殺 を図ったもの	
7月 2日 0時40分	建 物	調査中	共 住	同 宅	木造3階	3 階 下	男 36才	一 酸 化 炭素中毒	1階より出火し煙が階段より上昇し たため3階へ避難したが身体不自由 のため逃げ切れなかったもの
7月 9日 1時00分	〃	アイロンの 切り忘れ	住 宅	木造2階	玄 関	男 61才	〃	睡眠中火災に気付き消火につとめた が出来ないため家族と避難したが2 階の子供を起すため家の中に入り煙 にまかれたもの	
7月15日 3時34分	〃	調査中	共 住	同 宅	〃	病 院	男 54才	火 傷	火災に気付いたが半身不づいのため 逃げ切れず火傷を負い病院に収容後 死亡したもの
7月21日 22時17分	〃	蚊取線香	住 宅	木造1階	〃	女 85才	〃	熟寝中蚊取線香の火が布団に燃え移 り身体不自由のため全身火傷を負っ たもの	

8月14日 0時14分	車 両	内燃機関	—	—	—	男 29才	火 傷	交通事故による衝突により洩れたガソリンに引火全身火傷を負ったもの
8月19日 10時52分	建 物	放 火	住 宅	簡易耐火 1階	居 間	男 30才	一 酸 化 炭素中毒	普段からアル中で精神に異常を来たし発作的に灯油をかぶり自殺を図ったもの
9月 9日 4時00分	建 物	電 気 蚊取器	住 宅	木造1階	居 間	女 40才	一 酸 化 炭素中毒	火災に気付いた時はすでに一酸化炭素中毒にかかっていたため思うように逃げ切れなかったもの
〃	〃	〃	〃	〃	玄 関	男 12才	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	居 間	女 10才	〃	〃
9月11日 12時12分	〃	電 気 ヒーター	工 場	簡易耐火 1階	乾 燥 室	男 24才	頭 蓋 骨 粉碎骨折	乾燥室で乾燥機を取扱中爆発のため頭部を強打し死亡したもの
9月29日 16時00分	〃	マ ッ チ	住 宅	木造2階	病 院	女 83才	火 傷	身体不自由な本人が煙草を吸おうとしてマッチをすり捨てた処付近の紙クズに引火更にその火が着衣に着火火傷を負ったもの

約 20% は 不 良

タンクローリー等一せい検査

大阪府危険物災害対策連絡協議会は、11月12日午前9時から正午まで、府下主要道路5ヶ所でタンクローリー等の一せい検査を実施した。検査結果は次表のとおりで、タンクローリー、危険物運搬トラックでは検査台数の約20%、高圧ガス輸送車では5%、高圧ガス積載車両では29%が、構造、標識、管理等の不良箇所発見で注意された。

注意された主な点は次のとおりである。

◇タンクローリー（移動タンク貯蔵所）

- ・許可品名以外の危険物を移送している。
- ・非常の時に底弁を閉鎖する装置が管理不備のため不良が多い。
- ・その他47年1月1日から実施される標識については殆んどどの車両が未だ旧のままであった。



◇普通トラック

- ・消火器無しが多い。
- ・「危」の標識無しが多い。

◇高圧ガス輸送車

- ・移動計画書の無いものが多い。
- ・火花防止装置が不適。

検査 事項 取締 場所	消防法上の安全措置の適否			
	危険物 移動 タンク貯蔵所		危険物運搬車両	
	検査台数	不良台数	検査台数	不良台数
合 計	255	56	120	25
大 正	86	23	33	8
此 花	86	18	34	10
堺	34	9	10	2
東 大 阪	30	5	39	3
島 本	19	1	4	2

検査 事項 取締 場所	高圧ガス取締法上の安全措置の適否			
	高圧ガス輸送車		高圧ガス積載車両	
	検査台数	不良台数	検査台数	不良台数
合 計	22	1	24	7
大 正	0	0	0	0
此 花	9	0	1	0
堺	10	1	6	1
東 大 阪	2	0	14	6
島 本	1	0	3	0

南河内石川に重油禍

再三、上水道取水を停止

河内長野、富田林、羽曳野市など南河内各市が上水道用水を取水している石川に、最近連続して油が流入しその都度上水道の取水をストップするやら沿岸各市ではテナヤワシヤである。

9月28日夕方富田林市一円の上水道がくさいと大騒ぎとなり水道局でも取水を停止して調査した結果、上流河内長野市三日市新橋附近で何かが廃油を不法投棄した疑い。

11月15日朝は河内長野市汐の宮町と富田林市横山地区の境界石川の千代田橋附近で重油が市10メートルにわたり流れているのを附近の人が発見、上水道には事故は無かったものの再三の油汚染に附近住民の不安がつのっている。

この流出事故はその後の調査で、上流河内長野市の某事業所ボイラー用重油と判明した。

貯蔵タンクからサービスタンクに給油するとき送油用モーターのスイッチを入れたまま他の用事にかかって、スイッチを切り忘れたため、サービスタンクより重油がオーバーフローしたものである。オートストッパー装置及びリターン回路を設けていれば事故は未然に防止できたものと思われる。

続いて、11月17日、河内長野市の石川にまたも重油が流出、下流の水道は取水を止めだが、これは河内長野市某社で、朝5時頃、重油タンクよりサービスタンクへ送油中、オーバーフローして流出したものとわかった。

灯油・重油の需要期を迎え、関係事業所ではもう一度点検、整備を励行されたい。

地下タンクより重油漏洩

10月11日午後5時30分頃、東区南本町U商事ビルの地下タンクより重油が漏洩した。7階建ビル地下1階に埋設(39年11月頃)された3,300ℓ重油地下タンクで、暖房用であるため今春より使用は中止していた。

ところがマンホール蓋部分より水と混った重油が湧出したのでびっくりして埋設土砂を除去したところ配管部分に亀裂を発見した。このタンクはタンク室に埋設し、砂を充填していたが、丁度タンク室の中に水道管が埋設されておりこれから漏水してタンク室が満水となり、重油注入管が冠水したが、この重油配管に亀裂部分があり、これよりタンク内に浸水し、残油1,500リットルを押上げて、重油が湧き出てきたものである。

過酸化物質自然発火

8月16日午前5時半頃、大阪市R社から白煙がたちこめているのを附近の住民が発見、まもなく消防車が出勤して消火した。

事故のあった場所は、塗料類の荷さばきをする一般取扱所で、4類危険物が保管されており、発見が遅れると大事故になるところであった。

事故の原因は、夏季休暇のため一時的に保管していた有機過酸化物質が、連日の猛暑のため分解し、自然発火したものと推定されている。

4類一般取扱所に無許可で1類危険物が保管されていたもので、とくに自然発火性物質の管理については、慎重を期さなければならない。

タンクローリーの危険物を

安全に受入!

テイコクモータポンズ



 株式会社 帝国電機製作所

本社・大阪06(472)0991 東京営業所03(832)4311

危険物容器には 品名・数量等の表示を

危険物は屋内貯蔵所において貯蔵したり、製造所等において詰替えをするときは、政令第26条1項2号及び、政令第27条3項1号に基き、規則第39条の2の規定により、規則別表3に掲げる運搬容器に収納しなければならない。

また、危険物を運搬するときも同表の運搬容器に収納しなければならない。

一方危険物の容器及び、包装の外部には政令第29条2号により危険物の品名、数量等を規則第44条によって表示しなければならない。

ところが最近の検査結果で無表示の危険物が各地で発見されているので、消防当局ではこれらの違反については指導取締を強化するむね表明している。

容器表示は、メーカー側で当然考慮すべき問題で、とくに塗料、接着剤等の化粧品等にあつては、マーク表示と関連して処置することが望ましい。

また、シーズンを迎え、灯油販売に際しても、無表示、誤表示が事故の原因となることが多いので、手落ちないよう準備されたい。

高槻市消防本部大冠分署新築

高槻市消防本部大冠分署が同市辻子二丁目に新築された。



交野市消防本部発足

11月3日付で、交野市消防本部および消防署が発足、消防長には中田良雄氏、本部長兼署長には有家昭男氏が任命された。

また同市火災予防協会は従来より存続している。

四条畷市消防本部も四条畷市中野 665 に発足した。

消防ポンプから家庭用消火器まで!

消防機器の総合メーカー



保険付
家庭用万能消火器ピーナス

信頼のマーク



- 梯子消防車
- 消防ポンプ車
- 保険付消火器
- クレーン車

森田ポンプ株式会社

本社 大阪市生野区腹見町2の33
TEL (751) 1351
営業所 東京・大阪・仙台・名古屋・福岡
富山・北海道

ヤマトの消火器をお備え下さい。

アフターサービスは完璧!
きっと皆様のお役にたちます。

ヤマト消火器

本社 大阪市東成区深江北1-7-11



各市の火災予防運動

大阪市

大阪市では、週間に入る前に、11月2日～7日の間に高島屋で消防展を、11月18日には厚生年金会館で消防フェスティバルを開催した。また期間中は消防総合訓練や防火作品の巡回展示、自衛消防隊の訓練など各署で多催な行事を予定している。

吹田市

「火災のない明るい吹田市をきづきましょう」の標語を掲し、集会により市内目抜き通りパレード、防火標語風船2,000ヶの配布、個人住居の防火診断、また吹田電報電話局で高層ビル訓練を実施する外、防火管理者講習、危険物取扱者安全講習も行う。

また同市協会では、11月16日、大津市で秋季総会を開催した。

河内長野市

火災予防親子のつどいを11月24日午後天見小学校で開催、大阪市音楽隊によるパレード、ポンプ操作、防火講演を行う。また同市危険物取扱者部会では危険物取扱の保全と自主積極的な防火意欲を高めるため、10月19日麻野会長以下会員多数出席のもと自衛隊大津駐とん所、太泰東映撮影所の危険物施設を見学した。

富田林市

週間中はとくに寮、寄宿舎の立入検査を重点的に実施しまた市会議長の1日署長も計画している。

高槻市

高槻市では急激な都市開発にともない、消防力の強化が緊急の課題となっていたが、このほど大冠地区に、3,485万円の予算で、鉄筋コンクリート造3階建の高槻消防署大冠分署を新築した。

枚方・寝屋川

枚方、寝屋川市消防本部では、ヘリコプターで空からの防火PRよびかけや、11月25日はダイエーで、消防総合訓練を実施、また一般住宅火災が多いので、一般住宅の防火診断を重点的に実施する。

受験者7,000名を越す 合格発表は12月8日

次は2月頃乙種4類、丙種の予定

大阪府では昭和46年度第2回目の危険物取扱者試験を、11月14日、近畿大学で実施したが、夏季試験が1回取り止めになったのと、法令改正が相まって、受験者は甲種770人、乙種7,000人(延)と大阪府試験始めて以来の受験者があった。

合格者は12月8日に発表され、合格者には本年中に免状が交付される予定。

次回は2月頃の予定で、試験種目は乙種第4類と丙種が計画されている。

講習も延9回

準備講習も予定外に2回追加し、甲種と合せて延9回開催、受講者は4,000人近くに及んだ。



あらゆる消防設備・設計・施工

非常扉の自動開錠装置
防火扉・危険物貯蔵所等の自動閉鎖装置 } YMオートアンロック
泡・ガス・エア－ホーム消火装置

YM式オートアンロック西日本総括
齊田式救助袋 近畿地区
日本ドライケミカル(株)
ヤマト消火器(株)

代理店

株式会社

三和商会

TEL 06 (443) 2456